

令和 2 年度 学校自己評価システムシート (県立川越西高等学校)

目指す学校像	学力の向上、豊かな人間性の育成、健康の増進・体力の向上による高い自己形成を目指すとともに、地域との連携により信頼を確保する。
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎・基本の定着と学習意欲の高揚により学力の向上を図る。 2 規律と品位のある学校生活を送らせる。 3 進路意識の早期確立と進路実現を目指した組織的・計画的な進路指導の推進。 4 近隣小学校・中学校・高校・大学等、諸機関・地域等との連携の拡大。
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	3名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							
年度目標							
年度目標				年度評価(1月25日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習が習慣化している生徒は4分の1程度だが、スタディサプリでの課題提出率は高い。今後、スタディサプリの利用を全校の取組として定着化させ、家庭学習の習慣化につなげるのが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの充実による、学習意欲の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> 公開授業週間に教員相互の授業見学を行い、授業力を向上する。 補習・補講の実施。 スタディサプリを効率的に活用し、授業の学習を補充する。 	<ul style="list-style-type: none"> スタディサプリの活用状況。 生徒アンケートの授業評価。 授業以外の学習時間。 補習・補講参加者数。 	休校期間中はスタディサプリを活用しての学習保障を実施。(1人当たり動画視聴15時間、課題提出30回)。学校再開後もスタディサプリとGoogle Classroomを活用して課題配信(ｽﾀﾌﾞ約600回)や各教科担当が双方向による学習補充を実施。 生徒アンケート「丁寧でわかりやすい授業」の評価が昨年比5pt上昇。	A	スタディサプリの利用を中心に、徐々に家庭学習時間が増加している。一方、与えられた課題は行うが予習復習を積極的に行っている生徒は23%にとどまっているため、自主的に学習する姿勢の育成が課題である。
2	<ul style="list-style-type: none"> 90%以上の生徒は自身の服装髪型は整っていると認識している一方、他の生徒に対しては、45%の生徒は整っているとは思わないと感じており、認識に開きが生じている。 交通マナーについての苦情は皆無ではないため、社会の一員としての規範意識向上を図り、防犯意識、交通マナー等についても指導を充実させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己管理能力向上及び、規範意識・防犯意識・交通安全意識の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> 校門立哨指導の継続と、定期的な整容指導を実施する。 学校行事、委員会活動、部活動へ主体的に参加させる。 地域の小中学校、自治会等との情報共有と連携を強化する。 集会、DVD上映等を活用し、交通安全・マナー指導を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 整容指導対象者・遅刻者数。 SNSに関する指導実施状況。 生徒アンケート、社会マナー、服装・髪型の評価項目。 不審者情報の迅速な共有と被害件数。 	休校期間中は全担任がスタディサプリやGoogle Classroomを活用して生徒との対話を実施し、学校再開後に生徒は落ち着いた学校生活を送ることができていた。特別生徒指導も激減し、1月末まで2件(昨年同期9件)。 髪型については、休校・長期休業期間中に加工する生徒が増加。生徒アンケートでしっかりできていると答える生徒は49%と半数以下。 支援が必要な生徒については、教育相談担当を中心にスクールソーシャルワーカー(7回)やスクールカウンセラー(2回)を活用し、支援を実施。	A	SNS関係のトラブルが相変わらず見受けられるため、入学早期にマナー指導を行う必要がある。 生徒の各種活動について、自主性を育てる指導を継続して行っていく。 登下校時や交通マナーについては、苦情が皆無ではないので、引き続き指導を徹底していきたい。 定期的な、支援委員会を開催し、より一層の支援体制の充実を図る。
3	<ul style="list-style-type: none"> 進路意識の高揚を目指す取組により、生徒の意識は高まりつつある。進路に向けた早い段階からの計画的・継続的な指導が課題である。 変わる大学入試の情報などを生徒及び保護者にも提供する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の進路希望の実現に向けた指導の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> 教務部及び各教科と進路指導部が連携して、進路補講や受験対策指導の充実させる。 保護者対象進路説明会において、最新の情報を提供する。 大学入試情報及び、就職についての迅速かつ丁寧な情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1希望への決定率。 生徒アンケート「進路の目標を持っている」 補講と受験対策指導の参加状況。 保護者対象進路説明会への参加数。 	第3学年の進路決定率は1月末現在、約95%(大学一般受験生徒6名を除く)。 各種進路業者を活用して生徒向け進路分野別説明会を2回実施。 1・2学年保護者対象に来校とオンラインによる同時説明を実施(2/6)。 各種検定受検者数(英検:157名、漢検116名、数検:10名)も増加	A	保護者への説明等にオンラインを使用するなど、これまでにない対応を実施した。コロナ禍で進路選択に不安な生徒・保護者に対し、丁寧に対応する必要がある。 引き続き、早期からの進路意識の向上に向けて説明会・見学会を企画する予定である。
4	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民・小中学校との交流やボランティア活動が活発に行われている。 地域や保護者向けに積極的な情報発信を行い、信頼関係を確立している。 HP等、広報活動の更なる充実が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な情報発信と家庭・地域との連携強化。 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館主催のボランティア活動等へ参加させる。 PTA・地域との連携による巡回指導や防犯活動を実施する。 安心安全メールの登録者数を増加させる。 中高連携委員会を中心とした学校PRを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館事業への参加生徒数。 保護者アンケートの情報提供項目評価の向上。 HP更新・閲覧者数、安心安全メール配信登録者数。 	多くのボランティア活動が中止となる中、川越市社協のPR動画作成や自宅できる手作りボランティアに40名の生徒が参加。また、被災地への古着支援に17名の生徒が協力 学校説明会は11月以降の実施となったが、4日間10回の分散開催で、延べ1200人以上の希望者を対象に実施。 一方、学校行事が中止となる中、保護者アンケートでの「教育活動が見えやすい」が20pt減少。	B	HPや一斉メールを使い、健康観察のお願いや県からの連絡などを配信したが、保護者アンケートの結果から近況報告など情報発信の工夫改善が必要である。 小中学校との連携はコロナ禍でどのような形でできるか検討したい。 霞ヶ関西公民館と連携事業は、ほとんど中止となったが、できることを模索しながら、さらに連携を深めていきたい。

学校関係者評価	
実施日 令和3年1月27日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>感染予防の中、家庭学習の習慣化について成果が見られたことは評価に値する。目指す学校像の「健康の増進・体力の向上」を学力の向上と関連付けて欲しい。 コロナ禍で仕方がないが、昨年より学び合いの授業が少なかった。 スタディサプリの活用はよかったと思う。成果を感じられる。</p>	
<p>高校での生徒指導が成果を上げたおかげで、中学でも反社会的な生徒指導が激減した。服装・髪型指導は中学・高校の永遠の課題ではあるが、地域の中学生に与える影響は大きいので、根気強くお願いしたい。 成人年齢引き下げが迫るため、規範意識・自己管理能力の向上に引き続き努めていただきたい。 交通マナーについての苦情に対し、該当生徒が正直に名乗り出る生徒の育成をお願いしたい。 校則は生徒の実態に合わせて見直すことも検討して欲しい。 下校時の校門指導も必要だと思う。</p>	
<p>コロナ禍における、進路決定率95%は評価に値する。第一希望の決定率だけではなく、納得している生徒の割合を重視してほしい。また、卒業後の相談等に応じて欲しい。 早期の進路指導の成果が出ているのは指導のおかげである。</p>	
<p>地域として、安心・安全な環境を整備し、生徒の笑顔を応援したい。 活動がままならない中ではあるが、学校行事等に工夫が見られうれしく思う。 保護者に教育活動が見えるように、ホームページの活用を更にお願したい。 コロナ禍で地域との関わりが薄い1年になってしまったが、できることを無理なくやれば良いと思う。</p>	